

茶殻リサイクル製品投入

カネパッケージ

茶殻を配合した紙製のクリアファイル^①とマスク入れ



SDGs活動事業の柱に

カネパッケージ(埼玉)イクルシステムを活用
 県入間市、金坂良一社し、茶殻を配合した封筒
 長)は伊藤園の茶殻リサ やマスク入れなど紙製品

の営業を本格的に始める。

た。リサイクルを通じ、リサイクル品を積極的
 環境負荷低減や国連の持に利用することが環境活
 持続可能な開発目標(SD 動にもつながるため「S
 GS)への具体的な取り DGs達成への取り組み
 組み手法として取引先を始めたが、何をした
 業や自治体などに提案。 らいか迷っている企業
 同時に自社のSDGs活 や自治体に提案してい
 動の一環として事業の柱 く」(高村賢一常務)方
 に育てていく。

針。

すでに地元の入間市に まず本業である梱包
 紙製マスク入れを約10万 材のユーザーを対象に
 枚提供したほか、樹脂製 「最終目標として、国内
 クリアファイル全廃を決 外合わせ約1000社の
 めた日本生命保険に紙製 顧客に働きかける」(同
 ファイル1万枚を納入し としている。特に日本生
 た。今後も封筒や名刺、 命に納めたファイルは
 ナプキンなど顧客ニーズ 「脱プラスチックになる
 に応じラインアップを広 上、コストも下がる。紙

ファイル・名刺など拡充

なので自分で自由に印刷
 できるなど利点が多い」
 ため、SDGsへの取り
 組み事例として最も有望
 と見ている。

伊藤園は茶系飲料の製
 造後に出る大量の茶殻を
 リサイクルするシステム
 を確立。多くの企業と共
 同で日用品や建材、文具
 などを商品化し、茶殻に
 残るカテキンの抗菌・消
 臭効果や茶葉独特の香り
 で各製品に付加価値を与
 えている。かねてSDG
 S活動に積極的なカネパ
 ッッケージでは、すでに商
 品化済みの「プラスチック
 (卵の殻を利用したバイ
 オマス樹脂)」とともに
 に、茶殻リサイクル品を
 SDGs関連製品として
 伸ばす計画だ。(川越)